

## 団体総合成績・2016年年間総合優勝

順位	団体名	チーム名	パラシュート 滞空	ペイロード 定点	高度	技術 (参考値)	合計
1	東海モデルロケットクラブ	T R C	18	25	5	(-4)	48
2	大宮工業	チーム宮工A	0	3	25		28
3	長岡技科大	A	0	12	15	(-2)	27
4	中臺	設計屋さん	15	0	6		21
5	泊チーム	泊チーム	10	6	0		16
6	岩手高校	T M I revolution	8	0	4		12
7	唐津東	Regulus	0	8	0		8
8	北中学校	チーム北中B	0	0	8		8
9	浦和高校	浦高ロケットチーム	1	4	1	(-2)	6
10	桐朋中高	桐朋ロケット団	5	0	0	(0)	5
11	岩手高校	藤村太郎と仲間たち	3	0	2	(-2)	5
12	岩手高校	岩中B	0	5	0	(-4)	5
13	三郷ロケット	三郷モデルロケットクラブ	0	2	0		2
14	武蔵野女子学院	フォーマルハウト	0	1	0		1

## 年間総合優勝

大宮工業

チーム宮工A

**《7位と8位について》**

双方それぞれ4位を記録し同じポイントの8点であり、さらに技術点としての加減はありませんでした。そこで正常に飛翔し記録を残している打上回数に着目しました。

唐津東のRegulusは3回の打上で記録を残しているのに対し、北中学校のチーム北中Bは2回の打上で記録を残していることから、上記の順位としました。

**《10位、11位、12位について》**

今回は技術点を団体の順位計算には使用しませんでした。3チームが同ポイントとなりましたので、この中で順位を付ける為に技術点に着目しました。

桐朋中高の桐朋ロケット団は技術点に減点はありませんでした。岩手高校の藤村太郎と仲間たちは1度のエンジン脱落、岩手高校の岩中Bは2度のエンジン脱落がありましたので、上記の順位といたします。

**年間総合優勝**

高校生以下の学生チームを対象として、年間（5月の大会と今回の大会）の合計獲得ポイントにより年間総合優勝を決定しました。

その結果本年の年間総合優勝は

**大宮工業高校のチーム宮工A 70点**

です。

2位、3位は以下のとおりです。

第2位 普連土学園 チームF 36点

## パラシュート滞空時間競技

順位	団体名	チーム名	得点
1	東海モデルロケットクラブ	T R C	18
2	中臺	設計屋さん	15
3	泊チーム	泊チーム	10
4	岩手高校	T M I revolution	8
5	桐朋中高	桐朋ロケット団	5
6	清教学園中学	清教学園	4
7	岩手高校	藤村太郎と仲間たち	3
8	岩手高校	ベネット	2
9	浦和高校	浦高ロケットチーム	1

## パイロード定点着地競技

順位	団体名	チーム名	得点
1	東海モデルロケットクラブ	T R C	25
2	長岡技科大	A	12
3	唐津東	Regulus	8
4	泊チーム	泊チーム	6
5	岩手高校	岩中B	5
6	浦和高校	浦高ロケットチーム	4
7	大宮工業	チーム宮工A	3
8	三郷ロケット	三郷モデルロケットクラブ	2
9	武蔵野女子学院	フォーマルハウト	1

## 高度競技

順位	団体名	チーム名	得点
1	大宮工業	チーム宮工A	25
2	長岡技科大	A	15
3	北中学校	チーム北中B	8
4	中臺	設計屋さん	6
5	東海モデルロケットクラブ	T R C	5
6	岩手高校	T M I revolution	4
7	岩手高校	藤村太郎と仲間たち	2
8	浦和高校	浦高ロケットチーム	1

## 《ロッキード マーティン賞・ロッキードマーティン奨励賞》

ロッキード マーティン賞	
武蔵野女子学院	フォーマルハウト

ロッキード マーティン奨励賞	
大宮工業	チーム宮工A
岩手高校	T M I revolution
唐津東	Regulus

成績優秀な女子学生チーム（高校生以下）にロッキード マーティン社からロッキード マーティン賞、学生チーム（高校生以下）上位3チームにロッキードマーティン奨励賞（ロケット教材費5万円）が贈られました。

これは、アメリカ合衆国のオバマ大統領が提唱しているSTEM教育（サイエンス、テクノロジー、エンジニア、マテマティクス（数学））として、モデルロケットを教材に実施されており、ロッキード マーティン社が日本の科学教育に資する為に日本モデルロケット協会をパートナーとして行なわれるものです。